

# 愛知県農業総合試験場 2024年の10大成果

## 第1位

### 第2位

卵用新系統NGY6 (右♂左♀) と卵



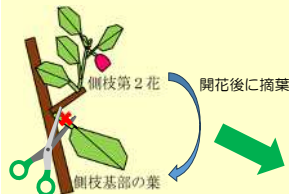
本系統の利用でヒナの羽による性別鑑定可能にし、卵も改良された。

♂ 本系統♀と連羽性の交配時のヒナ羽状況

名古屋コーチンで初めてヒナの羽根で雌雄鑑別が可能に！  
-名古屋コーチン卵用新系統(NGY6)の開発-

### 第4位

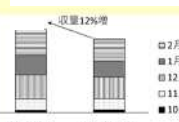
- ① 剪定方法の改善  
⇒ つや無し果発生55%減少
- ② かん水方法の改善  
⇒ つや無し果発生77%減少



- ③ 摘葉方法の改善  
⇒ 収量12%増加



試交17-22の果実



「試交17-22」で高品質なナスをいっぱい穫ろう！

-ナス新品種「試交17-22」の栽培技術を確立-

### 第7位



コショウランの萎れは原因の解明と対策の実施で解決！  
-輸送時の萎凋対策を確立-

### 第3位

新品種「C系統」の果実



新品種は既存品種「宮川早生」(左)より10日ほど着色が早くて果皮色が良好。また、食味も良好

既存品種 新品種

暑くても味、色づきイイネ！  
加温ハウス向けウンシュウミカンの新品種を開発！  
-新品種でハウスミカン産地の更なる発展を-

在来種よりも収穫期が約1ヶ月早いエゴマ新品種を開発！

-新品種で中山間地域の活性化を目指します-

### 第5位



春にスクミリンゴガイ防除用石灰窒素を施用(30kg/10a)した場合の施肥体系を検討

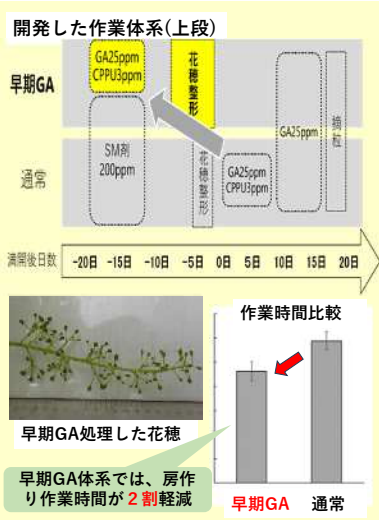
試験体系	肥料銘柄	肥料施用量 (kg/10a)	収量 (g/m <sup>2</sup> )
慣行	中生育 乾田直播くん	17.0	760
慣行	側条エース	33.0	747

慣行と同程度の収量を得ることができた。  
⇒ コスト削減・環境負荷低減

石灰窒素でスクミリンゴガイも肥料も減らそう！

-石灰窒素を併用した水稻の全量基肥施肥体系を開発-

### 第8位



「シャインマスカット」の房作り作業軽減技術を開発  
-早期GA処理でより作りやすく-

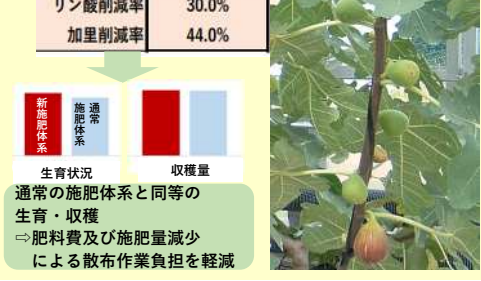
### 第9位



作物の生育状態が一目でわかる！  
-生育予測技術を開発 (AgriLook愛知県版) -

### 第6位

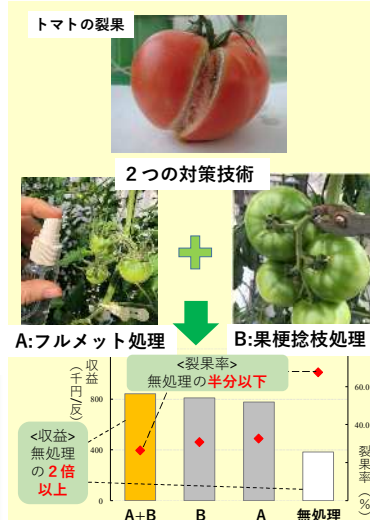
新たな施肥体系	施肥量	L型+追肥体系 (N-P-K)	通常施肥体系 (N-P-K)
	計	20.6-13.4-13.4	20.6-19.0-24.0
リン酸削減率	30.0%		
加里削減率	44.0%		



イチジクの生産性を維持しながらコストを低減します

-L型元肥を活用した新たな施肥体系を開発-

### 第10位



フルメット液剤と果梗捻枝の組み合わせで収益UP！！  
-トマトの裂果対策技術の開発-